

令和 7 年度 世界遺産沖ノ島検定 上級検定

問題

主 催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

大問 1 (文章問題)

※20 点満点

以下の文章を読んで、問 1～5 に答えなさい。

「神宿る島」沖ノ島は、(a) 航海安全のための祭祀が執り行われた島で捧げられた、多様な来歴をもつ豊富な出土品によって、(b) 4 世紀から 9 世紀の間の東アジアの国家間の重要な交流を示している。(c) 奉獻品の配置や祭場構成の変化は祭祀の変遷を証明し、それはまた、アジア大陸、朝鮮半島、日本列島を拠点とする国々がアイデンティティの感覚を発達させた時期に起こり、(d) 日本文化の形成に本質的に貢献した活発な交流の過程の性格を反映するものである。

問 1 下線部 (a) について、沖ノ島で国家的祭祀が行われ始めた 4 世紀後半頃の船はどのようなものだったか、簡潔に説明しなさい。(配点：5)

問 2 下線部 (b) について、当該期の中国大陸と朝鮮半島の王朝・国家の変遷について、簡単に説明しなさい。(配点：6)

問3 下線部 (c) について、沖ノ島祭祀遺跡の奉獻品とそれが出土した祭祀遺跡の分類の組み合わせとして間違っているものを以下のア～エから1つ選びなさい。

(配点：2)

- ア、鉄鋌 — 岩上祭祀遺跡
- イ、金製指輪 — 岩陰祭祀遺跡
- ウ、カットガラス碗片 — 半岩陰・半露天祭祀遺跡
- エ、奈良三彩小壺 — 露天祭祀遺跡

問4 下線部 (d) について、沖ノ島祭祀遺跡の奉獻品には伊勢神宮の神宝との共通性をもつものがあるが、そのような奉獻品が登場する時期（年代）と、その意味するところを説明しなさい。(配点：4)

問5 この文章は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の「世界遺産一覧表に資産を登録する場合の評価基準」のうち、どの文章にあたるか、以下から選びなさい。(配点：3)

- ア、評価基準 (ii) イ、評価基準 (iii) ウ、評価基準 (vi)

問 12 この文章に関して、宗像市側にも存在したと想定されるかつての入り海と宗像大社辺津宮との関係や、その変遷について論じなさい。(配点：5)

大問 3 (文章問題) ※20 点満点

以下の文章を読んで、問 13～20 に答えなさい。

(a) 「みあれ祭」のルーツである中世の では、春夏秋冬の年 4 回、沖ノ島の竹で作った長い旗竿を島の神 (神) の象徴として、沖津宮を本社とする (b) 辺津宮第一宮 に迎え入れました。江戸時代にも、沖津宮の祭祀を司っていた (c) 大島の 河野家が、(c) 年に二回沖ノ島に渡島して例祭を行っていました。「みあれ祭」は、こうした三宮一体で沖ノ島への信仰を伝えてきた宗像大社の伝統に基づくもので、 年から行われています。

問 13 文中の に入る語は何か、記しなさい。(配点：2)

{ }

問 14 文中の に入る語 (神名) は何か、記しなさい。(配点：2)

{ }

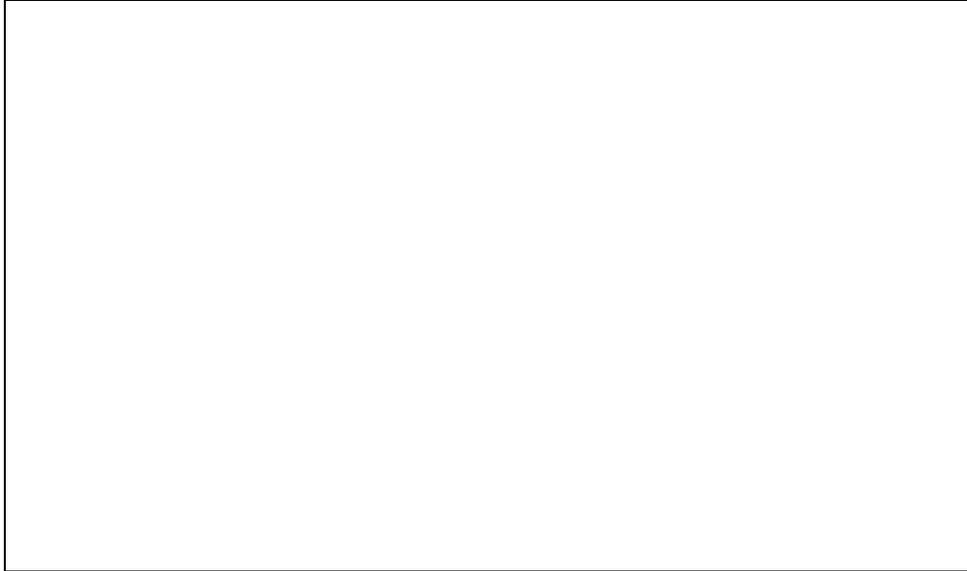
問 15 文中の に入る語として適切なものを下記のア～エから選びなさい。(配点：2)

ア、一ノ甲斐 イ、二ノ甲斐 ウ、三ノ甲斐 エ、島守

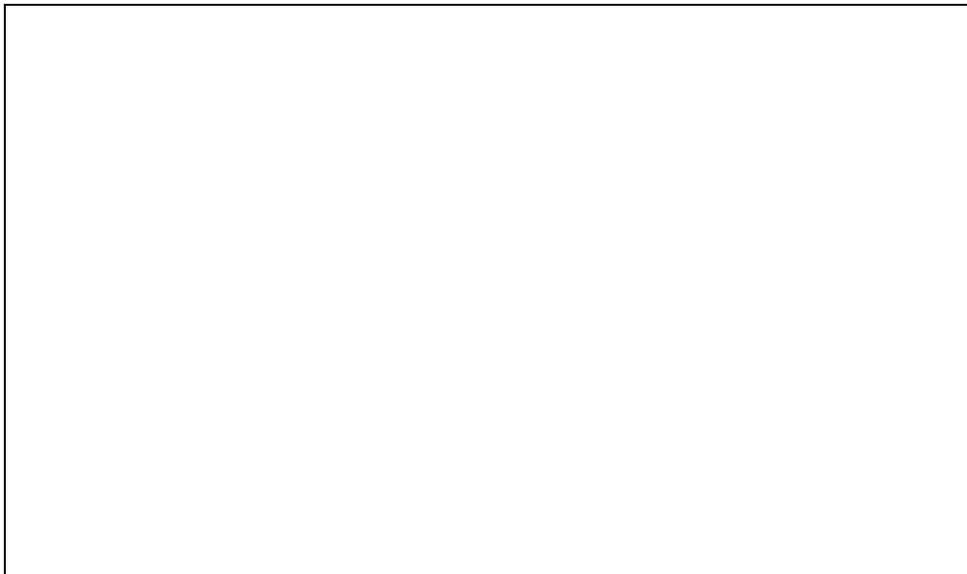
問 16 文中の に入る数 (年) を下記のア～エから選びなさい。(配点：1)

ア、1922 イ、1942 ウ、1962 エ、1982

問 17 下線部 (a) について、現在の「みあれ祭」における三女神の「御霊」の動きについて、祭りの準備段階から簡潔に説明しなさい。(配点：5)



問 18 下線部 (b) について、辺津宮第一宮は中世には「惣社」とも称されていたが、それはなぜか。その理由(意味)を記しなさい。(配点：3)



問 19 下線部 (c) について、江戸時代、藩命により沖ノ島に渡った青柳種信は、神事のために沖ノ島に赴いた神職の様子も含め、島内の様子を鮮明に書き残している。その書物の名称は何か、空欄の中に漢字一字ずつ記しなさい。
(配点：2)

『瀛津島 』

問 20 この文章について、中世や近世に沖ノ島に渡って行われた神事については、祭日をはっきりとは定まっていなかった。それはなぜだと考えられるかを述べなさい。(配点：3)

大問 4 (図版問題) ※20 点満点

図を見て、問 21～25 に答えなさい。



(A)

問 21 (A) の図は沖ノ島祭祀遺跡中のある遺跡の発掘調査時の写真である。この遺跡は何号遺跡か。また、この写真をもとに遺物の出土（検出）状況を説明しなさい。（配点：5）

大問 5 (単答問題)

※20 点満点

以下の問 26～35 に答えなさい。

問 26 沖ノ島や宗像大社に関する遥拝の習俗についての説明のうち、明らかに間違っているものを一つ選びなさい。(配点：2)

- ア、大島の漁師の妻は、沖ノ島で漁をする夫の無事を願い、沖津宮遥拝所から祈りを捧げていた。
- イ、福津市の手光という集落では、かつて疫病が流行した際、沖ノ島が見える峠に遥拝所を設けて祈りが捧げられた。
- ウ、北九州市の若松区小竹の白山神社近くには、沖津宮遥拝所址とされる石の祠が残されていて、かつてはここから沖ノ島が見えたとみられる。
- エ、大島の宮崎という地区にも、かつては沖ノ島に対する遥拝所があった。

問 27 江戸時代、第 6 代福岡藩主黒田継高が福岡城の近くに沖ノ島に対する遥拝所を設けたという記録がある。それはどこに位置していたか、記しなさい。(配点：2)

{ }

問 28 以下の日本の世界遺産の中から、構成資産内に世界遺産としての価値に密接に関係する「遥拝所」が含まれるものを一つ選びなさい。(配点：2)

- ア、富士山
- イ、平泉
- ウ、紀伊山地の霊場と参詣道
- エ、百舌鳥・古市古墳群

